



# 関東同窓会絵画同好会

## WEB GALLERY

### ごあいさつ

同窓生の皆様こんにちは。

絵画同好会は2018年、19年の2回展覧会を開催し多くの同窓生に好評を頂きました。その後、第3回はコロナの影響を受けて2年間にわたり中止になっております。そこで会員たちの日頃の作品を、ホームページをお借りしてご紹介したいとWEBギャラリーを開設いたしました。

54期の先輩はじめ20余名の会員が次の第3回展覧会に向け、さらに継続して行くための励みとなりますよう、どうぞご高覧くださいますようお願い申し上げます。

また入会して出展をご希望の方にも広く門戸を開けて歓迎します。

絵画同好会会長 諸岡健児(62期)

橋詰 守人 (54期)



故郷の香り 水彩 F 80号



祈り 水彩 F 80号

橋詰 守人 (54期)



松原湖の夏 水彩 F 80号

大日方 真 (54期)



歌舞伎座 水彩 20号



東京冬景色 水彩 20号



前山寺三重塔 油彩 F10号

独鈷山麓の前山寺にある未完の塔で、欄干などが付いていない。  
五月には藤の花や牡丹、秋には銀杏の紅葉が見事。  
砂利の敷かれた境内は箒跡も鮮やかに整えられている。  
絵より、塩田まで足を運び実景をご覧頂きたい。

中沢 賢 (54期)



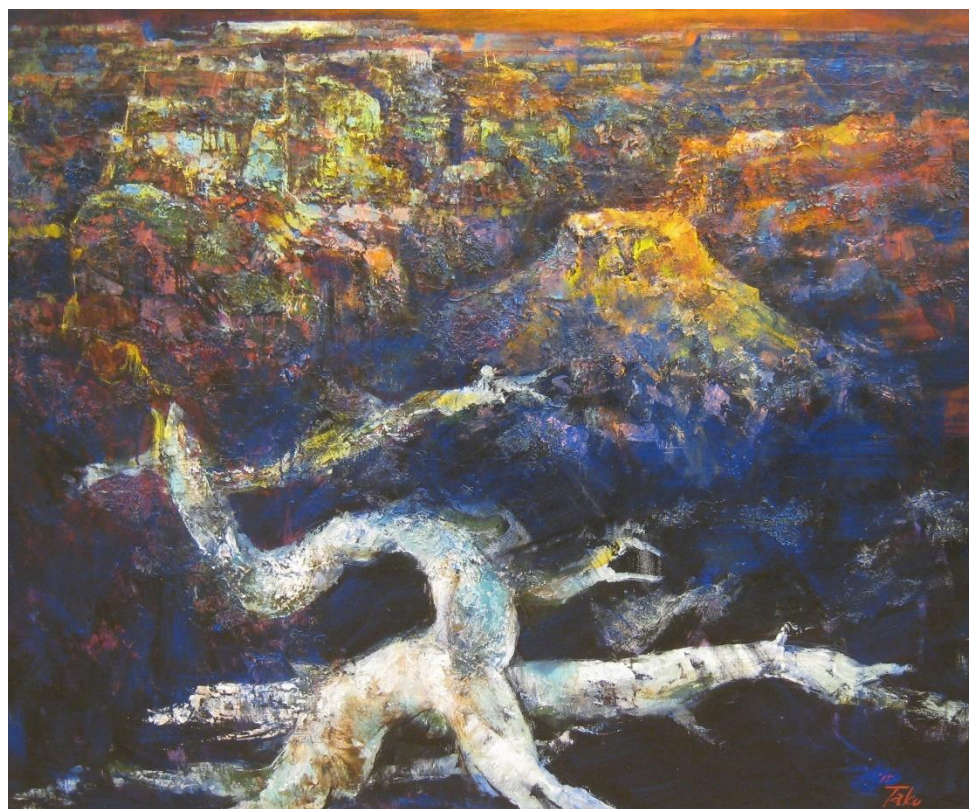
津金寺仁王像 油彩 F80号

津金寺山門にある仁王、雨曝しの時代があったのか、  
塗りは落ち、痛みがひどく継ぎ接ぎが目立つ。  
満身創痕だが、しかし凜として立ち続ける。  
八十路を越えた身には、あやかりたい思いや切である。

宮下 倬實 (55期)



黎明 油彩 F100号



悠久の大地 (グランドキャニオン) 油彩 F100号

武村 洋治 (58期)



古城の門（上田高校正門） 水彩 F 4号



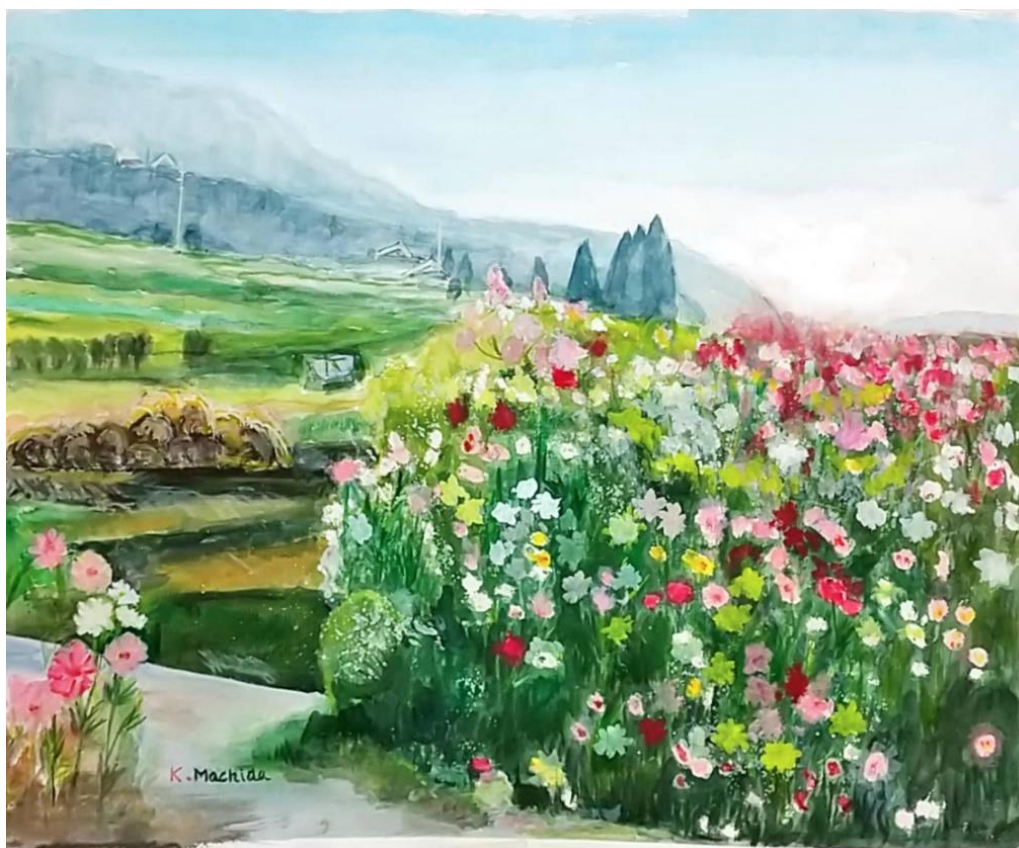
国宝松本城 水彩 F 12号





松本市・上高地開山祭 水彩 F 1 2

町田 克二 (59期)



姨捨棚田の休耕田に咲くコスモス 水彩 F15号



黄金色に染まる朝焼けの雲海 晩秋の星峠 水彩画 F6号

諸岡 健児 (62期)



満開のツツジと古城の門 水彩 F10号

(同窓会のHPより)



鶴岡八幡宮 水彩画 F10号

依田 欣五郎 (62期)



バイブリーの宿 水彩 変8号



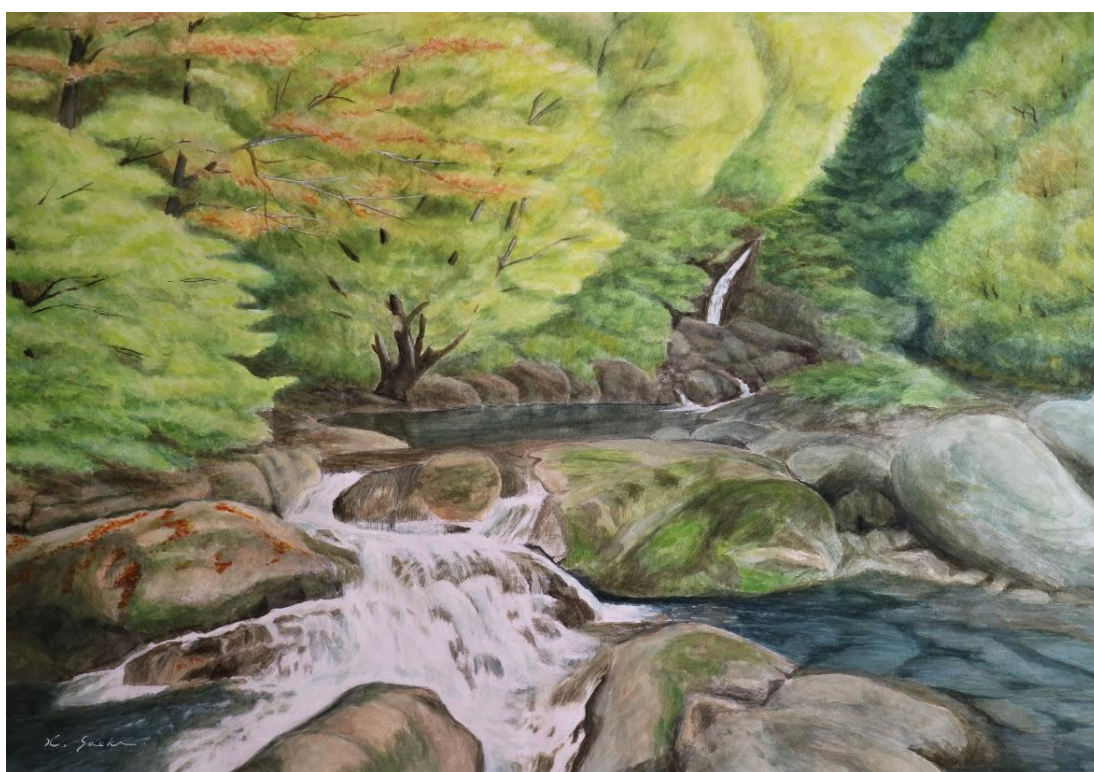
柳町風景 水彩 変8号

佐伯 謹吾 (63期)



縄文のビーナス 水彩 F10号

(竹倉 史人著 「土偶を読む」 より)



源流 水彩 P40号

近藤 正昭（69期） 上田高校関東同窓会会長 協賛作品



住所梅田（バイデン） 色鉛筆 A4

古畑克己 (69期)



ここから出発 水彩 F 6号



文楽 水彩 F 6号

中沢 俊彦 (71期)



マルセイユの教会 油彩 F20



堀内 秀雄 (73期)



或るカノン — あまねく光 テラコッタ

(2018年 日展出品作品)

渦巻く雲のような様々な不安(不正)の中で、誠実にあまねく等しく光(成果・成功・幸福)が中って欲しい、そんな思いを自然素材の焼成粘土:テラコッタで表現しました。



下溝から 油彩 P20

JR 相模線の下溝駅付近は広大な相模河川敷と大山を一望できる  
スポットです。

冬には巨大な凧揚げの会場もあります。

スケールの大きい風景作品を制作するのに絶好の場所です。



# 関東同窓会絵画同好会

# WEB GALLERY

## (2022年 後期)

## 展示作品を入れ替えました

同窓生の皆様、WEB GALLERY を立ち上げてから6か月間、会員有志の力作をご高覧いただき、有難うございました。それぞれに個性のある作品を鑑賞頂けたと思いますが如何でしょうか。

本来なら実物をご覧いただきたいところですが、新たな作品の掲載により、ホームページに花を添えることができましたなら、会員一同無上の喜びです。

作品には題名だけでなく作画に関連した作者の添え書きを掲載したのもございますので、是非お楽しみください。

今後の絵画同好会活動をさらに活発なものとするため、趣味を同じくする同窓生の参加を切望しております。是非ご参加ください。

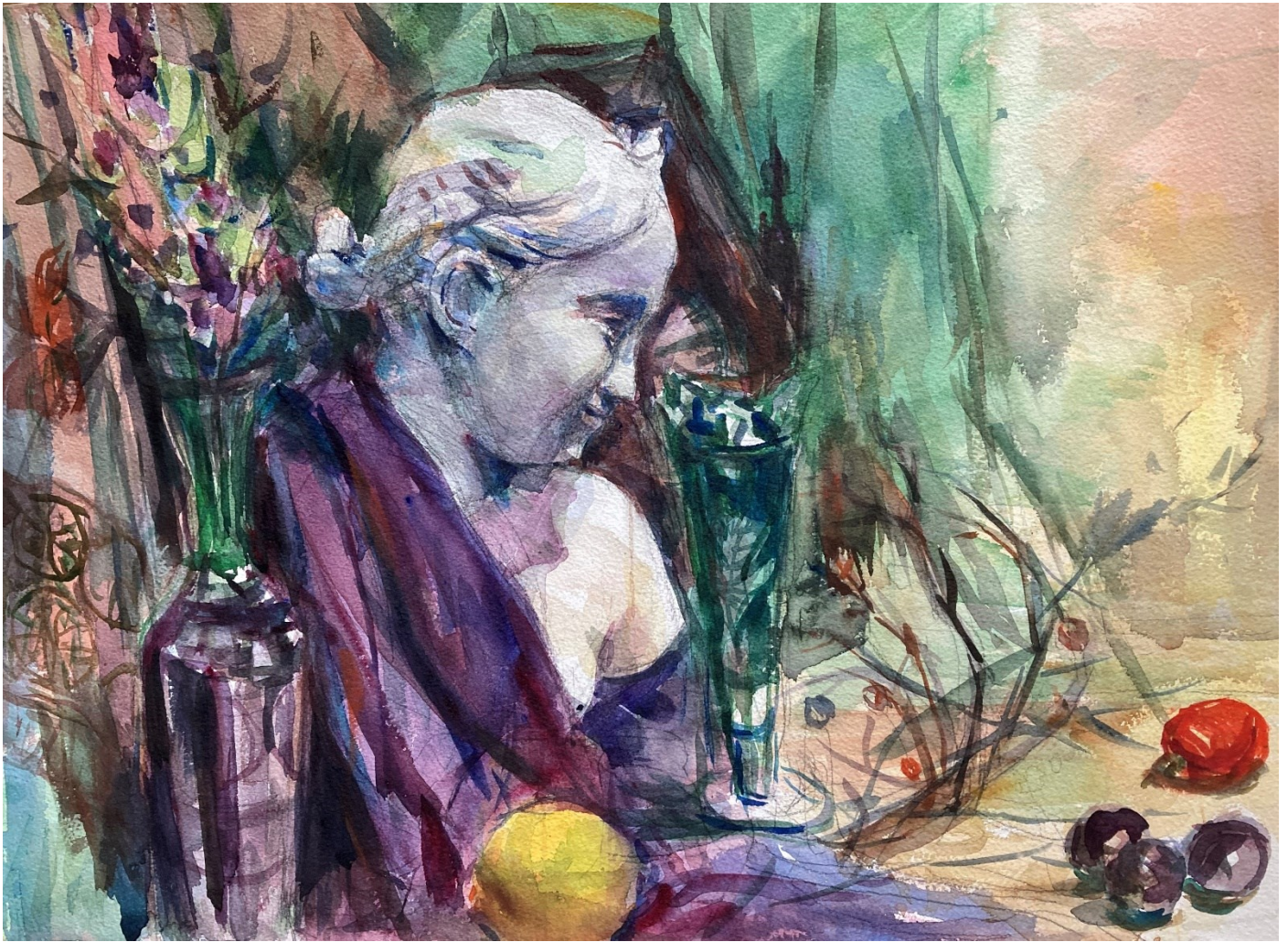
絵画同好会会長 諸岡健児(62期)

WEB GALLERY 出展作品 (2022年 後期)

作品番号	作者・(卒業期)	題名	技法	号数	制作年
1	橋詰 守人 (54)	石膏のある静物画 1	水彩	10	2022
2		石膏のある静物画 2	水彩	10	1996
3	大日方 真 (54)	残った家屋石垣島	水彩	20 (72.7× 60.6cm)	2013
4		浅草七タスカイツリー	水彩		2015
5	中沢 賢 (54)	蓮池寸描	アクリル	F8	
6		竹林雪止む	アクリル	F8	
7	宮下 倬實 (55)	残照一田村丸一	油彩	F100	2022
8		木蓮の咲く頃	油彩	F50	2019
9	武村 洋治 (58)	善光寺 ヘッドホンからロックが聞こえる	水彩	F8	2015
10		① 2020年からの年賀状 ② 上田高校金子同窓会長 上田高校同窓会中南信支部 初代 小林茂昭54期支部長夫妻 2代目菅谷昭60期支部長現松本大学長	コラージュ	100号まで 印刷可能	2000
11	町田 克二 (59)	初夏の宮ヶ瀬ダム湖	水彩	F6	2022
12		上高地田代池	水彩	F6	2022
13	諸岡 健児 (62)	鳴門大橋	水彩	F10	2019
14		我が町千葉	水彩	F10	2020
15	依田欣五郎 (62)	春色小田原城	水彩	F8	2022
16		夕色見沼田圃	水彩	F8	2022
17	佐伯 謹吾 (63)	共生	水彩	P40	2021
18		黒姫の春	水彩	P12	2022
19	近藤 正昭 (69)	住所梅田 (バイデン)	色鉛筆	A4	2021
20	古畑 克巳 (69)	紫陽花	水彩	F6	2022
21		土塀の街	水彩	F6	2022
22	中沢 俊彦 (71)	海辺のセレナーデ	油彩	F20	
23		トワイライト	油彩	F20	
24	堀内 秀雄 (73)	「Plant」	彫刻 テラコッタ	H:68cm	2014
25		或るカノンー想いを抱いて	彫刻 テラコッタ	H:138cm	2020
26	工藤 清一 (76)	大地休眠 (四阿山)	油彩	変200	2007
27		白馬初冬	油彩	変200	2009

橋詰 守人 (54期)

1



石膏のある静物画—1 水彩 10号

橋詰 守人 (54期)

2



石膏のある静物画—2 水彩 10号

大日方 真 (54期)

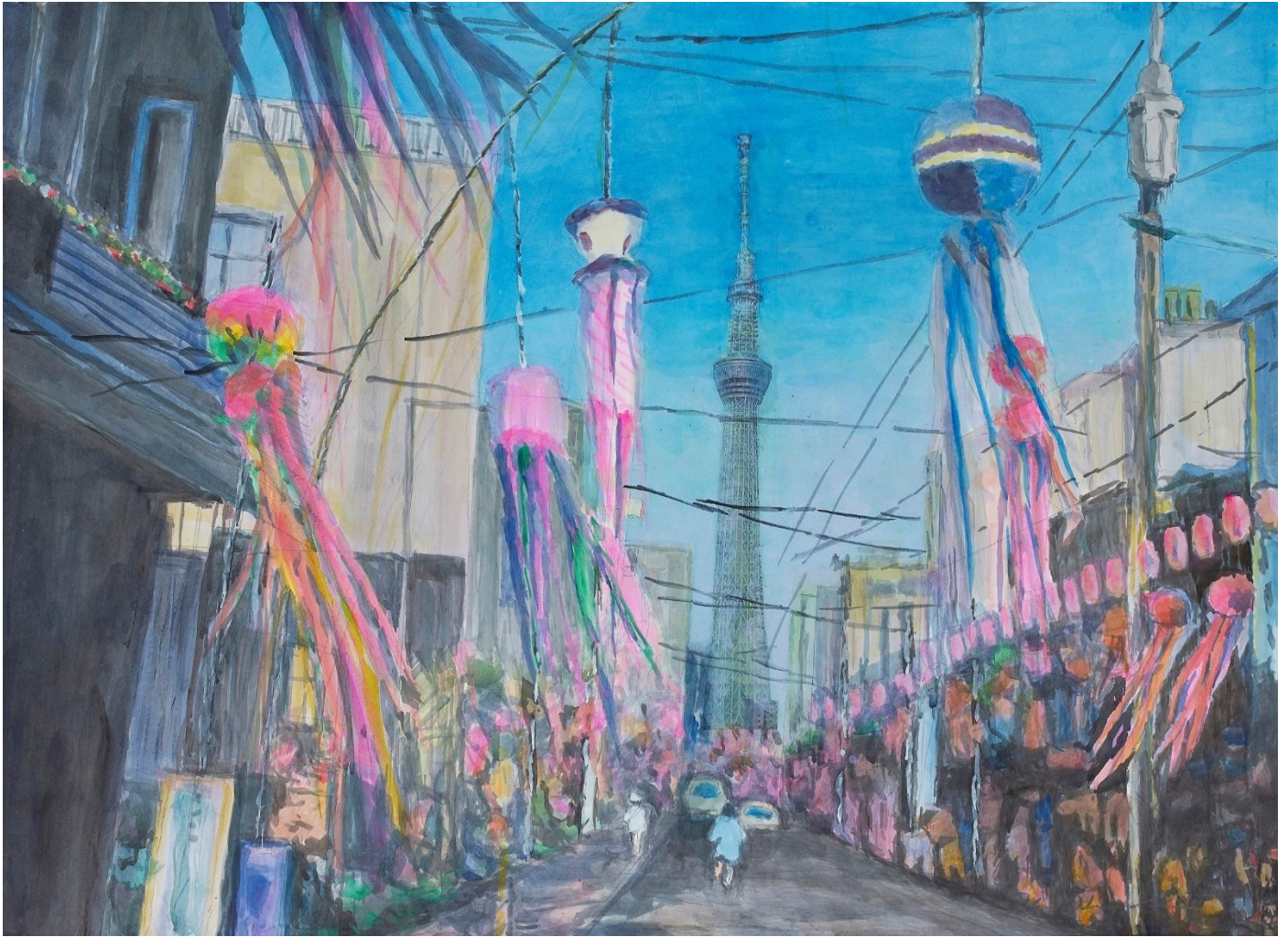
3



残った家屋石垣島 水彩 20号

大日方 真 (54期)

4



浅草七夕スカイツリー 水彩 20号



中沢 賢 (54期)

5



蓮池寸描 アクリル F8

中沢 賢 (54期)

6



竹林雪止む アクリル F8

宮下 倬實 (55)

7



残照一田村丸一 油彩 F100号

薪能 宝生流「田村」のイメージから

宮下 倬實 (55)

8



木蓮の咲くころ 油彩 F50号

木蓮の樹下・二人の少女たち

武村 洋治 (58)

9



善光寺 水彩 F8号

ヘッドホンからロックが聞こえる

武村 洋治 (58)

10 - ①



### ① 2020年からの年賀状

技法 コラージュ  
データなので100号まで印刷可能

制作年 西暦2000年

当時私は長野放送松本支社長  
2001年退職

### ② 上田高校金子同窓会長

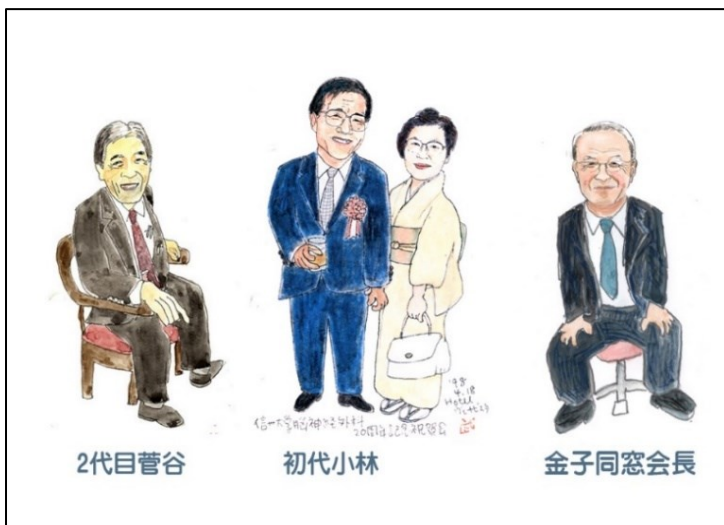
上田高校同窓会中南信支部初代

小林茂昭 54期支部長夫妻

2代目 菅谷昭 60期支部長

現松本大学長

10 - ②



2代目菅谷

初代小林

金子同窓会長

技法 コラージュ

### 説明

大学卒業時新日本証券（のちのつくば証券）梅田支店の営業でした。その証券界の諺 <人の行く 道に裏あり 花の山> 人と同じ事をやっていたんじゃダメ！成功するには人と違うことをしなさい。私の人生訓になりました。

絵も同じ。②、③の肖像画（身体付き）は誰もやりません。今まで2000人以上描きました。人生訓の2番目は工夫 3番目は行動とそのスピード 豊臣秀吉はそのスピード（中国大返し）もあって天下を捕りました。私が上田松尾高校1年時に甲子園初出場校名が変わって上田高校3年時は応援団長。今でも動員力があります。中南信支部ゴルフ会の会長を今もやっていて年1回のコンペには毎年コロナ禍なのに20名を集めてやっています。

町田 克二 (59期)

11



初夏の宮ヶ瀬ダム湖 水彩 F6号

町田 克二 (59期)

12



上高地田代池 水彩画 F6号



諸岡 健児 (62期)

13

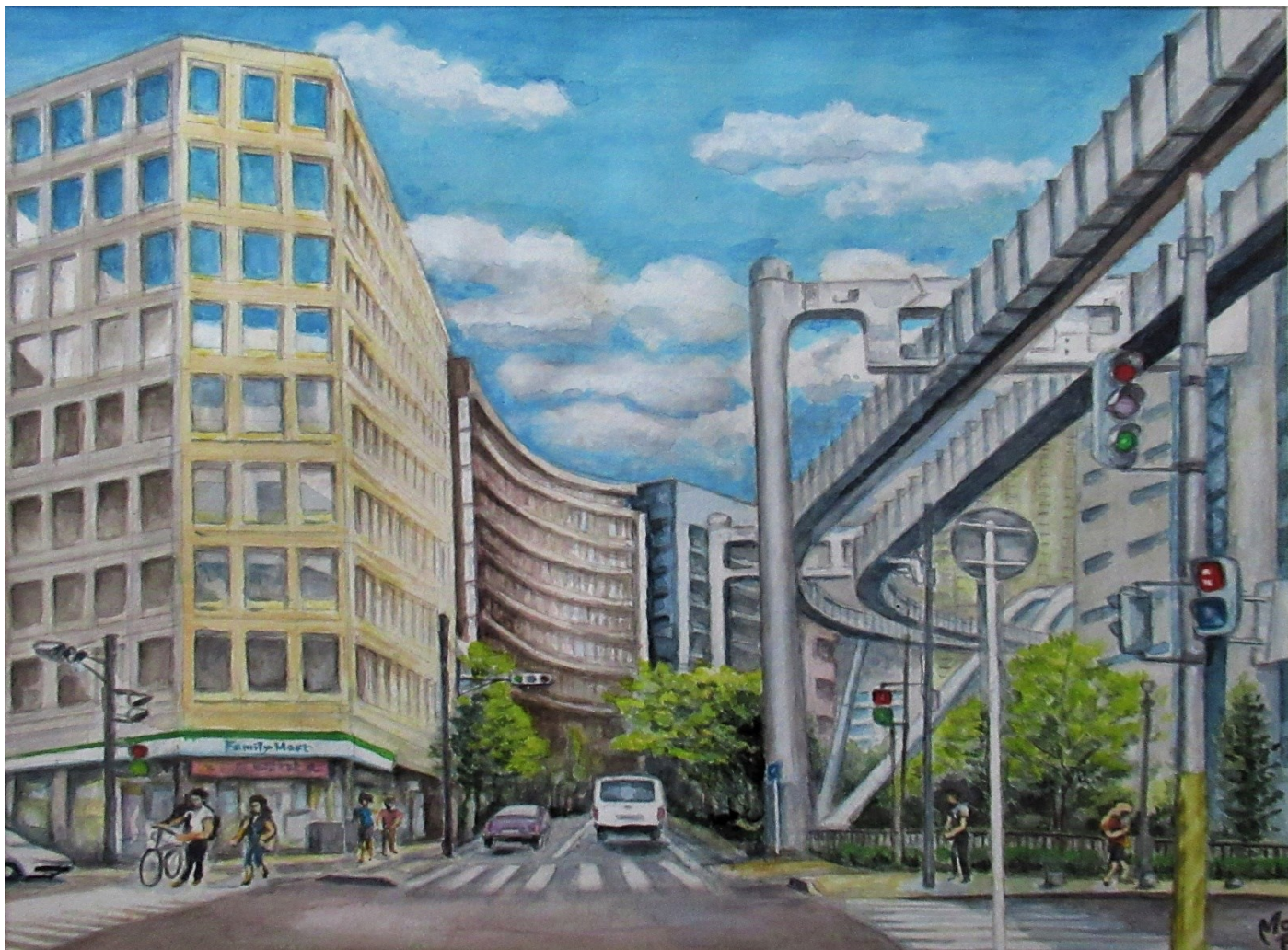


鳴門大橋 水彩 F10号

新幹線を神戸で下車、レンタカーで初めての淡路島縦断、  
1泊目鳴門大橋直下のホテルで目に焼き付いた日没の素晴らしい色彩、  
自分には力不足でとても表現できません。

諸岡 健児 (62期)

14



我が町千葉 水彩画 F10号

信号待ちで停車した運転席で、ふっと思い付き「ここ描けるかな？」  
スマホを取り出し、青に変わる寸前、撮れました。  
今後運転中は危ないからやめましょう

依田 欣五郎 (62期)

15



春色小田原城 水彩 F8号

依田 欣五郎 (62期)

16



夕色見沼田圃 水彩 F8号

佐伯 謹吾 (63)

17



共生 水彩 P40号

音楽の趣味を耳の老化であきらめ、70歳から水彩画を始めました。  
屋久島の紀元杉をモチーフに描きました。

佐伯 謹吾 (63)

18



黒姫山の春 水彩 P12号

飯縄、黒姫、妙高は子供のころに慣れ親しんだ山です。  
黒姫は当時とあまり変わりません。

近藤 正昭 (69) 上田高校関東同窓会会長 協賛作品

19



住所梅田 (バイデン) 色鉛筆 A4

古畑克己 (69期)

20



土塀の街 水彩 F 6号

奈良県のある街。土塀に囲まれた民家。  
明るい紅葉と、暗い土塀の対比が印象的である。



古畑克己 (69期)

21



紫陽花 水彩 F 6号

6月は紫陽花の季節。  
雨上がりの紫陽花は、躍動感に溢れていて素晴らしい。

中沢 俊彦 (71)

22



浜辺のセレナード 油彩 F20号

中沢 俊彦 (71)

23



トワイライト 油彩 F20号

堀内 秀雄 (73期)

24



「Plant」 彫刻 (テラコッタ) H:68cm

(白日会90周年記念展出品)

堀内 秀雄 (73期)

25



「或るカノンー想いを抱いて」彫刻 (テラコッタ) H:138cm

(改組第7回日展出品)

テラコッタ技法による彫刻作品です。素焼き粘土の天然素材を用いて、人物具象表現をベースに、想いを実材に託したオブジェとしての彫刻作品を目指しています。

工藤 清一 (76期)

26



大地休眠 (四阿山) 油彩 変200号

高原野菜の産地 裏浅間 (嬭恋村) からの四阿山の展望です。

第一美術展出品作です。

工藤 清一 (76期)

27



白馬初冬 油彩 変200号

名峰 白馬山の切り立つ山肌に挑戦してみました。

これも第一美術展出品作です。

関東同窓会絵画同好会

# WEB GALLERY

(2023年 前期)

展示作品の入れ替えをしました

同窓生の皆様、WEB ギャラリーでは新年を期して、展示作品を入れ替えましたのでご案内申し上げます。

コロナの状況が落ち着いたようなので、延期していた展示会と会員同士の初顔合わせも企画していたところ、またまた第8派の感染拡大で、なかなか平常に戻りません。今回も会員の力作を、実物ではなく残念ですが、是非ご覧頂きたいと思います。

また新規参加出展される同窓生歓迎します。

絵画同好会会長 諸岡健児 (62)



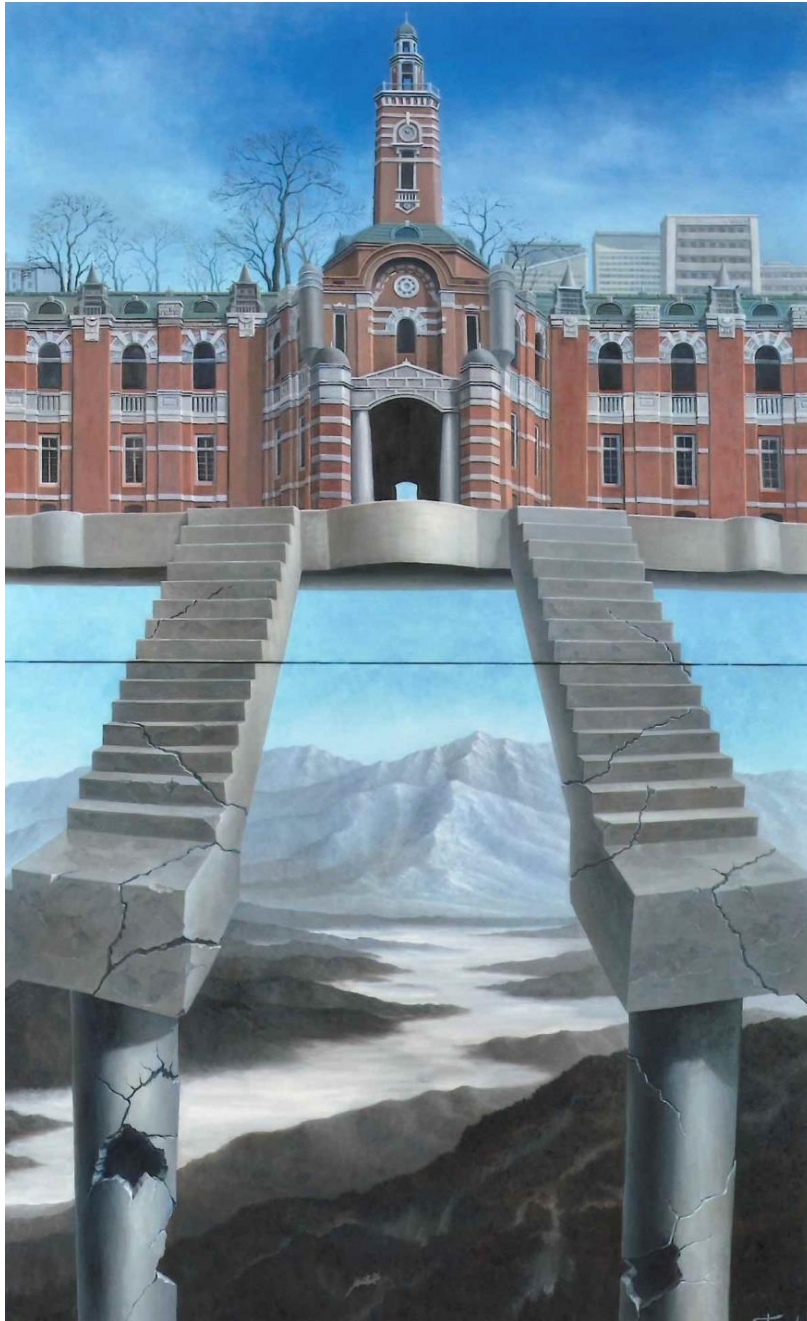
## WEB GALLERY 出展作品

2023 年前期

番号	作者・(卒業期)	題名	技法	号数等	制作年
1	工藤 清一 (76)	静寂の時	油彩	変 200 号	2012 年
2		果たせぬ超越世界	油彩	変 200 号	2014 年
3	堀内 秀雄 (73)	「或るカノン ー円環に想いを託し」	彫刻 (テラコッタ)	H:137 cm	2021 年
4		「軸と彎曲」	彫刻 (石膏)	H : 95 cm	2014 年
5	中沢 俊彦 (71)	聖人たちの詩Ⅳ	油彩	F 2 0 号	
6		聖人たちの詩Ⅴ	油彩	F 2 0 号	
7	古畑 克巳 (69)	帆引き船	水彩	F 6 号	
8		地中海の漁師	水彩	F 6 号	
9	佐伯 謹吾 (63)	飛泉Ⅰ	水彩	P 4 0 号	2022 年
10		飛泉Ⅱ	水彩	B 3	2022 年
11	諸岡 健児 (62)	真夏のゲレンデ	水彩	F 6 号	2022 年
12		収 穫	水彩	F 6 号	2019 年
13	町田 克二 (59)	緑のシンフォニー (初夏の御射鹿池)	水彩	F 1 5 号	
14	武村 洋治 (54)	信濃毎日新聞論説主幹 丸山貢一氏	水彩	ハガキ大	R 3 年
15		加茂川大橋より 鴨川デルタを見る	水彩	F 1 2 号 相当	R 4 年 10 月
16		上田城址公園の春 1 2 0 0			
17	宮下 倬實 (54)	シテ童子	油彩	F 5 0 号	2022 年
18		舞姿	油彩	F 5 0 号	2022 年
19	大日方 真 (54)	異国情緒 横浜元町繁華街	水彩		2013 年
20		段々畑を眺めて	水彩		2010 年
21		オペラハウスの夜明け シドニーにて	水彩		2015 年
22	橋詰 守人 (54)	岡倉天心生誕の地	水彩	F 8 0 号	2018 年
23		小鳥が歌う	水彩	F 8 0 号	

工藤 清一 (76期)

1



果たせぬ超越世界 油彩 変 200

自然と共生できると信じていた人類文明社会が根底から崩れ始める様子を描きました。

工藤 清一 (76期)

2



静寂の時 油彩 変 200

微妙なバランスで成り立つ均衡の社会を表現してみました。

堀内 秀雄 (73期)

3



或るカノン — 円環に想いを託し

改組新第8回「日展（日本美術展覧会）」（国立新美術館）出品作品

堀内 秀雄 (73期)

4



軸と彎曲

第44回「日彫展（日本彫刻会展）」（東京都美術館）出品作品

中沢 俊彦 (71期)

5



聖人たちの詩Ⅳ 油彩 F20号

中沢 俊彦 (71期)

6



聖人たちの詩V F20 油彩

古畑克己 (69期)

7



帆引き船 水彩 F 6号



古畑克己 (69期)

8



地中海の漁師 水彩 F 6号

佐伯 謹吾 (63期)

9



飛泉 I 水彩 P40号

東京都檜原村の払沢の滝 2022年7月

第71回 千葉県展出展

佐伯 謹吾 (63期)

10



飛泉 II 水彩 B3

妙高山麓の苗名滝 2022年11月2日 立ち込めていた霧が  
現地に着いたとたんに晴れ上がり、迫力ある姿を見せてくれました。

諸岡 健児 (62期)

11



真夏のゲレンデ 水彩 F6号

松本から大糸線で南小谷下車、白馬コルヒチスキー場、僅か3日間の避暑、岩岳、梅池とゴンドラ、ロープウェイで海拔2000mでは天然クーラーの世界



収 穫 水 彩 F6 号

このオジサンも 80 歳、若年層の農業離れ、輸入できなくなる前に深刻な日本の食料自給率を上げることが喫緊の課題です。

町田 克二 (59期)

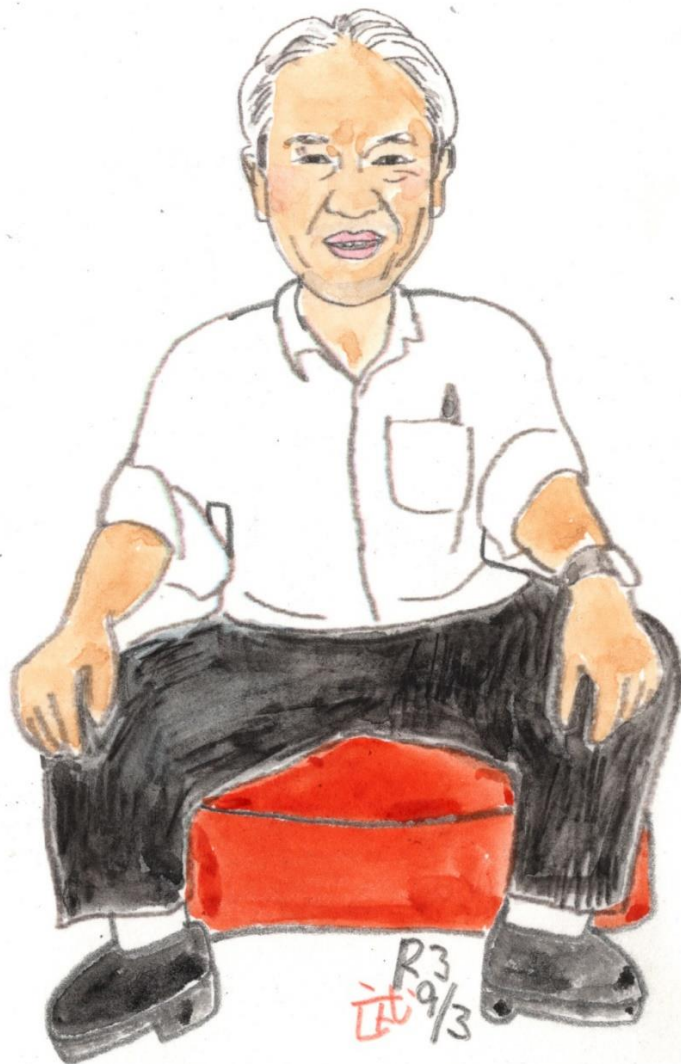
13



緑のシンフォニー（初夏の御射鹿池） 水彩 F15号

武村 洋治 (58期)

14



信濃毎日新聞論説主幹丸山貢一氏 水彩 はがき大

上田高校72期 信毎論説陣のトップ<斜面>で私の個展のことを書きました。

R4年9月13日掲載

武村 洋治 (58期)

15



加茂川大橋より鴨川デルタを見る 水彩 F12

加茂川大橋の今出川通り（東西）を東に行くと百万遍交差点。

筋向かいが京都大学キャンパス。

西に行くと京都御所、道路の向かいが冷泉家同志社大学キャンパス、隣が相国寺



武村 洋治 (58期)

16



上田城址公園の春 1200 水彩

宮下 倬實 (55期)

17



シテ童子 油彩 F50号

宝生流能「田村」で月明りの中でのシテ童子の舞

宮下 倬實 (55期)

18



舞姿 油彩 F50号

観世流能「大江山」の舞姿

大日方 真 (54期)

19



異国情緒 横浜元町繁華街 水彩

大日方 真 (54期)

20



段々畑を眺めて 水彩

大日方 真 (54期)

21



オペラハウスの夜明け シドニーにて 水彩

橋詰 守人 (54期)

22



岡倉天心生誕の地 水彩 F80号

橋詰 守人 (54期)

23



小鳥が歌う 水彩 F80号

日本水彩展出展